バラ色カーニバル

伊藤貴晴　作

【登場人物】

 ハンス コック

 ヨック 大臣の息子

 トリーネ 王女

 ミルカ 侍女

 大臣

 王様

【１】

 お城の広間。ミルカ登場。

ミルカ むかしむかし、あるところに小さな国がありました。田舎の本当に小さな国でしたが、空は澄み渡り、花が咲き乱れ、小鳥が歌い、動物達がはしゃぎまわる、まるでおとぎ話に出てくるような美しい国でした。その国ではみんな平和に幸せに暮らしていました。今から始まるのはそんな小さな国のお話。むかしむかしの他愛無いお話。ところで、その国の王様はちょっと変わった人でした

 王様登場。奇抜な格好。

王様 おはようミルカ

ミルカ おはようございます王様。今日も変わった格好をしていますね

王様 いいだろう。これは仕立て屋に特別に注文したんだ。王たるもの、人より一歩進んだファッションセンスを身につけないとな

ミルカ 一歩進んだファッションセンス？

王様 そう。これが時代の最先端だ

ミルカ 一歩どころか二歩も三歩も進んでるような

王様 格好良いだろ。私はファッションリーダーだからな。今年はこういう服が流行る

ミルカ それはないと思いますけど

王様 なぜだ？

ミルカ 正直に言ってもいいですか

王様 言ってみろ

ミルカ ダサい

王様 そうか？斬新じゃないか

ミルカ 何て言うんですかね、うざったいです、全体的に。少なくとも私は絶対にそんな服着たくありません。その仕立て屋、やめた方がいいんじゃありませんか？

王様 そんなことないぞ。この前の服だって素晴らしかった。なんと、バカには見えない服だ。すごいだろう。バカには見えない。賢い人間にしかその服は見えないんだ。だがな、私はバカだから見えないんだ、その服が。そうやって言ったら仕立て屋も困っておってな、色々話し合った末に裸が一番という結論になったんだ。それで素っ裸でウワァーって叫びながら国中走り回って、若い娘達のキャーっていう黄色い悲鳴を浴びながら爽快な気分で、こう

ミルカ 王様、あなたバカですか

王様 今や完全に変態扱いだ。悔しいから裸祭りを開催してみんなにも恥ずかしい思いをさせることにした

ミルカ またお祭りですか？

王様 楽しいだろう？平和な世の中だ。楽しいのが一番

 大臣登場。

大臣 おはようございます

王様 おぉ、大臣。今度の祭りは裸祭りに決まったぞ

大臣 裸祭り？

王様 そうだ。男はパンツ一丁、女は肌色のボディスーツでこうやって踊りまわる

大臣 王様、子供向けのお芝居でそういったことはやめて下さい

王様 ダメか

大臣 そんなことをしたら苦情の電話がたくさんかかってきてしまいます

王様 それはまずいな

大臣 できたら違う出し物を考えて下さい

ミルカ 私、朝食の支度をしてきます

大臣 うん、よろしく頼む

 ミルカ退場。

大臣 まったく、あなたは遊ぶことしか考えてないんですか

王様 うん、そうだね

大臣 王様は国を治める立場なのですから、もっと国民のために

王様 だからこうやって国民のために楽しい催し物を考えてるんじゃないか

大臣 遊ぶことだけでなく、もっと色んなことに目を向けて下さい

王様 お前は真面目な男だな

大臣 そうだ、今朝の新聞は読みましたかな？

王様 いや、まだだ

 何かおもしろい時事ネタでも話して下さい。オチがついたところで大臣と王様退場。ミルカ登場。

ミルカ はっきり言ってかなり変な王様ですが、みんな平和に幸せに暮らしていました。お城には大変美しい王女様がいました。名前はトリーネといいます。王女様はちょっとわがままで思い込みが激しくて意地悪で乱暴で、よくお城の人達をいじめたりしましたが、実は意外に純粋で素直で優しい人でした。王女様には仲のよい二人の友達がいました。大臣の息子のヨック、それからお城のコックのハンスです。三人は幼馴染で小さい頃から一緒に遊んでいました

 トリーネ登場。

トリーネ 私の悪口を言ってるのは誰？

ミルカ あ、王女様。おはようございます

トリーネ ねぇ、ミルカ。今、誰か私の悪口言ってなかった？

ミルカ いいえ、誰も

トリーネ そう。ならいいけど。見つけたら教えてね

ミルカ どうするんですか？

トリーネ 捕まえて八つ裂きにするのよ。決まってるじゃない

ミルカ 王女様、今日は早いんですね。いつもならこの時間はまだ寝てるのに

トリーネ あのね、夢を見たの

ミルカ 夢？

トリーネ 私、悪者に捕まったの。お城を乗っ取ろうとする悪魔みたいな奴だったわ。でもね、素敵な人が私を助けに来てくれて、悪者をやっつけてくれたの

ミルカ そうだったんですか

トリーネ 今にきっとそんなことが起こるわ

ミルカ え？　どうして？

トリーネ 夢で見たことは本当に起こるのよ。知らないの？

ミルカ そうなんですか

トリーネ あ、信じてないわね

ミルカ いえ、そんなことはありません

トリーネ 間違いないわ。これは神様のお告げよ。今にきっと素敵な人が現れる

ミルカ だといいですね

トリーネ そして私はその人と結婚するの

ミルカ 結婚？

トリーネ ええ、そうよ

ミルカ 誰と？

トリーネ もう、人の話はちゃんと聞いてよ。だから、私を助けに来てくれる素敵な人

ミルカ それって誰なんですか？

トリーネ そんなの会ってみないと分からないじゃない

ミルカ ええ、それはそうですけど

トリーネ 何？

ミルカ 助けに来たのがものすごく格好悪い人だったらどうするんですか？

トリーネ そんなことあるわけないじゃない。とっても素敵な人よ

ミルカ そうだといいですけど。でも、お城を乗っ取る悪い奴だって、いるかどうか分からないし

トリーネ ああ、そうね。誰がいいかしら。大臣でいいわ

ミルカ 大臣？

トリーネ 大臣は悪い奴よ

ミルカ そうなんですか？

トリーネ 今、私がそう決めたわ。もうすぐ私は大臣にさらわれて、そして誰か素敵な人が助けに来るの。さあ早くいらっしゃい、私の王子様

 ハンス、ヨック登場。

ハンス ほら、早く

ヨック いや、でもさ

ハンス せっかく用意したんだろ

ヨック いざとなると心の準備が

ハンス 何言ってるんだよ。もう決めたんだろ

ヨック あ、お腹が痛くなってきた。イタタタタ

ハンス ゴチャゴチャ言ってないで、ほら

 ハンス、ヨックをトリーネの前に突き飛ばす。

トリーネ おはよう、ヨック

ヨック お、おはようトリーネ。今日もいい天気だね

トリーネ ええ、そうね。本当にいい天気。何だか素敵なことが起こりそう

ヨック そうだね、よし

ハンス いい雰囲気だ。いけるぞ

ミルカ どうしたの？

ハンス ヨックがトリーネに告白するんだ

ミルカ え？

ヨック しっ。黙って

トリーネ 何をコソコソ話してるの？

ヨック トリーネ、話があるんだ

トリーネ 何？

ヨック 実は、あの、その

トリーネ 何なの？

ヨック 実は、僕、トリーネのことが、す、す、す

トリーネ 何？　何を言ってるの？

ヨック いや、だから、その

ハンス ヨック、好きだって言うんだ

ヨック す、す、すき焼きって好き？

ハンス ダメだ

トリーネ ええ、好きよ

ヨック 本当？　じゃあ今度ハンスに作ってもらって一緒に食べよう

トリーネ いいわよ

ヨック よかった

ハンス よくないよ

トリーネ 話ってそれだけ？

ヨック うん、まあ、そうなんだ

トリーネ 何だ、そんなことか

ヨック そんなことって、これでも結構重要な

トリーネ 私の結婚相手はまだ現れないのかなぁ

ヨック え？

ハンス 今、何て言った？

トリーネ 私の結婚相手がもうすぐ現れるはずなんだけど

ヨック どういうこと？

トリーネ 私、結婚するの

 ヨック、その場に倒れる。

ハンス 結婚って、誰と？

トリーネ とっても素敵な人よ。ああ、待ち遠しいわ。そうだハンス、朝食の用意はできてる？

ハンス うん、できてるけど

トリーネ じゃあ食べに行きましょう。今日は素敵な一日になりそうね

 トリーネ退場。

ハンス おい、ヨック。しっかりしてよ

ヨック 何でだ、何でよりによってこんな時に

ハンス 告白もできずに終わっちゃったな。かわいそうに

ミルカ みじめね

ヨック せっかく指輪まで用意してたのに

ミルカ あら、素敵な指輪

ヨック 誰なんだ、素敵な人って誰なんだ

ミルカ 素敵な人っていうのは王女様の妄想よ

ヨック え？

ハンス 妄想？

ミルカ そういう夢を見たんですって。悪者に捕まって素敵な人に助けられる夢

ヨック 本当に？

ミルカ 本当よ

ハンス じゃあ今のとこは結婚の予定なんかないってこと？

ミルカ 思い込みが激しいからね、王女様は

ヨック 何だ、そうだったのか。よかった。燃え尽きて真っ白な灰になるとこだったよ

ハンス よかったね。まだチャンスはある

ヨック うん、でもなぁ

ハンス どうしたの？

ヨック これって、僕は全然意識されてないってことだろ？小さい頃からずっと一緒なのに、少しは僕の気持ちに気付いてくれたっていいじゃないか

ハンス ヨックがいつまでもウジウジしてるからだろ

ヨック 僕はウジウジなんかしてない

ハンス してるよ。そうやってウジウジモジモジニョロニョロしてないで、積極的に行動しなきゃ

ヨック 積極的にか。そうだな。ありがとう。元気が出てきたよ。さすが僕の親友だ

ハンス それにしても、ヨックがトリーネを好きだったなんて知らなかったな

ミルカ え？　ハンス知らなかったの？

ハンス え？　ミルカは知ってたの？

ミルカ そんなの態度で丸分かりじゃない

ヨック いやぁ、お恥ずかしい

ミルカ でも肝心の王女様があれじゃね

ヨック いいんだ。まだチャンスはある。大事なのは雰囲気作りだ

ハンス そう、雰囲気作り

ヨック 夜空の下で、こう手を取り合って、トリーネ、星が綺麗だね。ええ、そうね。でも、君の方がずっと綺麗だよ。まぁ、ヨック嬉しい。トリーネ、結婚しよう。大好きよ、ヨック

ミルカ ヨック、気持ち悪い

ヨック 気持ち悪いって何だよ

ミルカ だって似合わないんですもの

ヨック ロマンチックじゃないか

ミルカ 何か、いやらしい

ヨック いやらしくない

ミルカ じゃあ汚らわしい

ヨック 雰囲気作りだろ

ミルカ うざったい

ヨック 何だよ、好き勝手言いやがって。ハンスはどう思う？

ハンス うーん、馬子にも衣装だね

ヨック それは何か根本的に間違ってる気がする。まぁいい。カッコよくプロポーズを決めるんだ

ミルカ 無理よ

ヨック 応援しろよ

ミルカ だって無理そうなんだもん

ハンス ヨック、他にも考えてあるだろ？

ヨック そう、そうだ

ミルカ どんなの？

ヨック トリーネ、毎朝君の作った味噌汁を飲みたいんだ

ミルカ そんなの無理よ

ヨック 何でだよ

ミルカ 王女様、朝起きないんだもん

ハンス そうか、そうだね。それにトリーネはものすごく料理が下手だよ

ミルカ 食べたらお腹壊すんじゃないかしら？　それにそもそも王女なんだから料理なんかするわけないでしょ。王女様に料理作らせようなんて、身の程をわきまえた方がいいんじゃない？

ヨック うるさいうるさい。分かったよ、もう

ハンス 僕が毎日味噌汁作ってあげるから、元気出せよ

ヨック いらないよ。元はと言えばハンスが言い出したんだろ

ハンス だってこういうのってプロポーズの定番だろ。ヨックだって気に入ってたじゃないか

ミルカ 万が一うまくいっても、王様が反対するんじゃないかしら

ヨック そうか、そうだな。まずは王様に気に入られなきゃ。王様、お嬢さんを僕に下さい。貴様のような奴に娘はやらん。しかしお父さん。お前にお父さんなどと呼ばれる筋合いはないわ。娘が欲しかったらこの私を倒して行くんだな

ミルカ ハンス、朝ご飯を食べに行きましょう

ハンス うん、そうだね

 ハンス、ミルカ退場。ヨック、戦ってる雰囲気で王を倒す。

ヨック なかなかやるではないか。娘をよろしく頼む。王様。あれ？　ハンス？　ミルカ？　ちょっと、置いてくなよ

 ヨック、退場。

 トリーネ、ミルカ登場。

ミルカ いいんですか？

トリーネ 何が？

ミルカ ヨックにあんな態度をとって

トリーネ どうして？

ミルカ 知ってるんですよね？　ヨックが王女様を好きだって

トリーネ もちろんよ。あんなに分かりやすいんだもの

ミルカ だったらもっと優しくしてもいいんじゃないですか？

トリーネ これでも十分優しくしてるつもりなんだけど

ミルカ そうですか？　パンに唐辛子を塗って食べさせたり、ズボンのお尻に穴を開けたり、池に突き落としたり。いじめてるようにしか見えないんですけど

トリーネだってヨックを見てるといじめたくなるんですもの

ミルカ いじめてるんじゃないですか

トリーネ それに、ミルカだって知ってるでしょ？

ミルカ 王女様がハンスを好きだってことですか？

トリーネ そう

ミルカ 王様と大臣は王女様をヨックと結婚させたがってるようですけど

トリーネ お父様は反対してるわ

ミルカ そうなんですか？

トリーネ お父様は誰が相手でもとりあえず反対するもの

ミルカ でも、ただのコックと大臣の息子だったら誰が考えても大臣の息子を取ります。それにハンスは王女様のことを何とも思ってないようですけど

トリーネ そうなのよ。困ったわ

ミルカ 諦めてヨックと結婚したらいいんじゃないでしょうか

トリーネ 大臣の息子と結婚なんて平凡すぎて嫌。もっとスリリングな展開がほしいわね

ミルカ スリリングな展開？

トリーネ そうね、例えば、私とヨックを結婚させて国の乗っ取りを企む大臣。大臣に捕らえられるかわいそうな私。でもハンスが私を助けに来てくれて、私達はどこか遠くの知らない国で暮らすの

ミルカ ハンスにはそんなこと、とてもできそうにありませんね

トリーネ そんなのダメ。ハンスは私を助けに来るの。できなかったら無理矢理にでもさせてしまえばいいわ

ミルカ なるほど

トリーネ だからヨックは今のところ、はぐらかして様子を見るの。分かった？

ミルカ 分かりました

 トリーネ、ミルカ退場。

 大臣、王様、ミルカ登場。

大臣 王様、相談があります

王様 何だ

大臣 王女様のことです

王様 またその話か

大臣 王女様もそろそろよいお年頃。結婚相手を探してはどうですか

王様 私は反対だ

大臣 なぜですか？

王様 父親は娘の結婚に反対するものだ

大臣 そんな理由ですか

王様 大事なことだぞ。かわいい娘を嫁に出すんだ。相手は誰だ？

大臣 私の息子のヨックです

王様 私は反対だ

大臣 なぜですか

王様 父親は娘の結婚に反対するものだ

大臣 王女様を結婚させないつもりですか

王様 そんなことはない。ヨックが私の認める素晴らしい男だったら喜んで結婚させるさ。しかしなぁ、お前には娘がいないから分からんだろうが、何というか、こう、寂しいもんだぞ

大臣 心中お察しします

王様 お前には分からん。娘がどこの馬の骨か知らぬ男を連れて来るんだぞ

大臣 私の息子です

王様 どこの馬の骨か知らぬ男を連れて来るんだぞ

大臣 二回も言わないで下さい

王様 それで、娘が結婚相手を連れて来るじゃないか

大臣 はい

王様 お前か。私の娘と結婚したいなどとぬかすうつけ者は

大臣 王様、お嬢さんを私に下さい

王様 たわけが。貴様のような奴に娘はやらん

大臣 しかしお父さん

王様 貴様にお父さんなどと呼ばれる筋合いはない。帰れ。ガシャーン。ここでこうやってちゃぶ台をひっくり返してな。男を追い返す。父親というのはこうでなくてはいかん。大臣、なかなかうまかったぞ

大臣 ありがとうございます

王様 まぁ、一種の儀式のようなものだ。お前の息子が求婚に来たらこういうことになる

大臣 うーん、なるほど。ではどうしたら認めてもらえるのでしょう

王様 それはだなぁ、頃合を見計らって一緒に飲みに行くんだよ。居酒屋でチビチビやって、そこでこうやってポンと肩を叩いて、娘をよろしく頼む。かっこいいじゃないか。父親万歳だ

大臣 つまり王様はそういうことがしてみたいだけなんですね

王様 そうだよ。後は拳で語るんだ

大臣 拳で？

王様 私を倒すほど強い男でなくては結婚相手としては認められん

大臣 なるほど、拳ですか

ミルカ 王様

王様 何だ

ミルカ お城にはちゃぶ台はありません

王様 何だと？　ちゃぶ台がないと話にならんだろ

大臣 そうなんですか？

王様 ミルカ、すぐに用意しておきなさい

ミルカ かしこまりました

 ミルカ退場。

王様 これで準備万端だ。いつでも来い。すぐに追い返してやる

大臣 王様、私がこんなことを言うのもおかしな話ですが、王女様の気持ちはどうなんでしょう？

王様 確かに、娘の気持ちは尊重せねばならん。そこで本人に聞いてみたんだ

大臣 え？　もう聞いてみたんですか？

王様 うむ、甘いものと辛いもの、どちらが好きかと

大臣 は？

王様 やはり甘いものが好きと答えた

大臣 はぁ

王様 だから次はお菓子祭りをやることにした

大臣 祭りの話ですか

王様 さあ、忙しくなるぞ

大臣 王様、真面目に考えて下さい。王様

 王様、大臣退場。

【２】

 広間に全員集合

王様 そんなわけで諸君、お菓子祭りを開催することになった

大臣 まず地方の名産品や手作りのお菓子を持ち寄って品評会を行います。他にも、演歌歌手を招いてのカラオケ大会、お菓子の早食い、お菓子クイズ、サバイバルお菓子レースなど、楽しい企画が盛りだくさんとなっております

トリーネ 楽しそうね

ヨック すごいや

王様 ハンス、君にも新作のお菓子を作ってもらいたい

ハンス 分かりました

王様 では各々準備にかかるように。解散

 王様、ハンス、ミルカ退場。

大臣 まったく、王様のお祭り好きにも困ったものだ

トリーネ あら、いいじゃない。楽しそうで

ヨック うん、すごく楽しみだよ。僕、甘い物大好きなんだ

トリーネ よかったわね、ヨック

ヨック うん。ハンスはどんなお菓子を作ってくれるんだろう。楽しみだな

 ハンス、ミルカ登場。

ハンス ヨック、できたよ

ヨック ハンス

トリーネ 何を作ったの？

ハンス これだよ

大臣 どれどれ

ヨック これは何？

ハンス 茹でた栗を丁寧に裏ごしして練り上げた、マロきんとんです

みんな マロきんとん？

トリーネ おいしそう

ハンス 一生懸命作りました

ヨック すごいやハンス

大臣 見栄えは見事だが、問題は味だな

ヨック ハンスが作ったんだ。おいしいに決まってるよ

ハンス さあヨック、食べてみて

ヨック え？　僕が食べていいの？

ハンス 当たり前じゃないか。ヨックに最初に食べてもらおうと思って作ったんだよ

ヨック ハンス、ありがとう。ハンスは僕の心の友だ

ハンス いやぁ、そんなことないよ

ヨック 何だか食べるのがもったいないや

トリーネ 早く食べないとお父様に食べられちゃうわよ

ヨック 王様に？　大丈夫だよ。王様なんかどこにもいないじゃないか

 王様登場。

王様 何をやってるんだ？

ヨック あ、王様

大臣 ハンスがマロきんとんを作ってくれたんです

王様 マロきんとん？

ハンス お菓子祭りに出展するための新作です

 王様、マロきんとんを食べる。

ヨック あー

王様 うむ、うまい

ヨック 王様、それは僕の分です

王様 食べ物は食べた人の物だ

ヨック そんな

トリーネ お父様、私だって食べたかったのに

ハンス まだあるから大丈夫だよ

ヨック 本当？

ハンス ね、ミルカ

ミルカ ええ

 ミルカ、おかわりを出す。

ヨック 本当だ。よかった

王様 よし、もっと食べよう

大臣 王様、意地汚いですぞ

王様 早食いの練習だ

トリーネ ずるいわ、私も食べたい

ヨック ああ、なくなっちゃうよ

ハンス たくさんあるから大丈夫だよ

 みんなお菓子を食べようとする。突然王様が呻いて倒れる。

大臣 お、王様

トリーネ お父様

ヨック どうしたんだ？

ミルカ のどに詰まったんじゃないかしら

ハンス え？　そんな

大臣 王様、しっかりして下さい。王様

トリーネ お父様

大臣 ダメだ、意識がない

ミルカ 窒息死ね

ハンス えー？　王様、しっかり。王様

 王様、起き上がる。

王様 バカを言うな

ハンス あ、よかった

トリーネ お父様、生きてたの？

王様 当たり前だ。全く、本当に死ぬかと思ったわ

ヨック のどに詰まっただけなんだね

王様 そんな格好悪い死に方はできん

大臣 しかし王様、世間ではお年寄りがお餅をのどに詰まらせて亡くなられるという痛ましい事件が多発しており

王様 私を年寄りと一緒にするな。私はな、うっ

大臣 王様？

 王様は奇声を発して暴れだす。

大臣 王様、落ち着いて下さい

トリーネ お父様、どうしちゃったの？

ミルカ 壊れたわ、王様が壊れたわ

ヨック ハンス、お前、お菓子に何入れたんだよ

ハンス 入れてないよ、何にも入れてないよ

 王様、暴れまわって退場。他のみんなも後を追って退場。

 ミルカ登場。

ミルカ 元々変だった王様がさらに変になってしまいました。服を脱いだり、みんなの服を脱がせたりして暴れまわる王様を何とか牢屋に押し込めたのですが、原因は一体何なんでしょう？

 ミルカ退場。

 大臣とヨック登場。

大臣 王様は気が狂ってしまったようだ。一体どうなってるんだ

ヨック 大丈夫かな、王様

大臣 やはり原因はマロきんとんか

ヨック 使った栗が腐ってたんじゃないかな

大臣 それくらいではあんなにおかしくならんだろう

ヨック でも王様は元々変じゃないか

大臣 確かにそうだ

ヨック 毒キノコみたいなもんだよ。使った栗が変だったんだ

大臣 ハンスが何か変な薬を入れたのかもしれん

ヨック え？　そんな

大臣 何か妙な薬を使って、それで王様はあんな風に

ヨック ハンスがそんなことするわけないよ

大臣 問題はそこだ。狙いは王様じゃない

ヨック え？　じゃあ誰なの？

大臣 お前だよ

ヨック え？僕？

大臣 考えてみろ。あのマロきんとんは誰が食べるはずだった？

ヨック 僕だ

大臣 それを王様が勝手に食べてしまったんだ。元々はヨック、お前を狙っていたんだよ

ヨック ハンスが、僕を？

大臣 王様が意地汚くて助かったが、一歩間違えばお前がああなっていたかもしれん

ヨック でも、どうしてそんなことするの？　ハンスは僕の友達なんだよ

大臣 それが分からん。一体何故だ

 大臣、ヨック退場。

 トリーネ、ミルカ登場。

トリーネ ハンスがそんなことするなんて、私は信じないわ

ミルカ しかしあのお菓子を食べたらおかしくなったのですから、原因はやはりマロきんとんだと

トリーネ 犯人は大臣よ

ミルカ 大臣が？　何故ですか？

トリーネ 勘よ

ミルカ 勘、ですか

トリーネ 間違いないわ

ミルカ 勘だけでそこまで言い切れるのはすごいと思います

トリーネ 前から怪しいと思ってたのよ。いつもお父様に文句を言ったり怒ったり

ミルカ 王様を見てたら誰だって文句を言いたくなると思いますけど

トリーネ 大臣はお父様のこと嫌いなんじゃないかしら。だからお父様を亡き者にして自分が国を支配するつもりなのよ

ミルカ 王女様、王様はまだ生きています。前より元気なくらいです。それにあのマロきんとんはヨックが食べるはずだったんですよ

トリーネ それも計算よ。あの意地汚いお父様がお菓子を横取りするのは誰でも想像できるわ

ミルカ それは確かに

トリーネ 大臣は私とヨックを結婚させたがってたわよね

ミルカ ええ

トリーネ でもお父様は反対してる。だからお父様をあんな風にして、使い物にならなくしてしまったのよ

ミルカ 王様は前から使い物にならなかったと思いますが

トリーネ あんな変態が父親だなんて思いたくないわ

ミルカ 確かに

トリーネ 大臣は城を乗っ取るつもりよ。お父様を牢屋に閉じ込めて、代わりに自分が城の実権を握るつもりなんだわ

ミルカ そうでしょうか？

トリーネ そうとしか考えられないわ

ミルカ もし、もしですよ？

トリーネ 何？

ミルカ 王女様がハンスを好きだということを大臣が知っていたら？

トリーネ あ

ミルカ あのお菓子を作ったのはハンス。罪をなすりつけられてハンスはクビになるかもしれません

トリーネ そうか、ハンスを陥れる魂胆だったのね。そんなことさせないわ。何とかしてハンスを守らなきゃ。ミルカは大臣の様子を探ってちょうだい

ミルカ 分かりました

 トリーネ、ミルカ退場。

 ハンス、ミルカ登場。

ハンス 僕、責任を取ってコックを辞めるよ

ミルカ そんな。ハンスは何も悪くないんでしょ？

ハンス もちろんだよ。でも、あのお菓子で王様はおかしくなったんだから、やっぱり僕にも責任があるんじゃないかなあ

ミルカ そうかしら？

ハンス それにどっちにしてもクビになるよ、きっと

ミルカ 大臣は許してくれるって言ってたわ

ハンス 本当？

ミルカ 多分、材料が腐ってたんじゃないかって。意地汚くてお菓子を独り占めしようと王様もいけないし、賞味期限が切れた材料を使うことだってよくあることだから仕方ないだろうって

ハンス そっか。よかった

ミルカ それで、大臣にひとつお願いされたことがあるの

ハンス 何？

ミルカ ハンスはヨックとトリーネにうまくいってほしいでしょ？

ハンス うん、もちろんだよ

ミルカ それをハンスにも協力してほしいんだって

ハンス 二人をくっつけるんでしょ？　僕はいつだって協力するよ。どうすればいいの？

ミルカ 計画があるの。王女様を誘拐するのよ

ハンス え？　誘拐？

ミルカ いい？　あの二人に必要なのはドラマチックなシチュエーションよ。ハンスが王女様を誘拐して、それをヨックが助けに来る

ハンス ああ、そうか。それでヨックが僕をやっつけて、勢いで告白するんだ

ミルカ 素敵だと思わない？

ハンス これならうまくいきそうだね。悪者に捕まって素敵な人に助けられるっていう王女様の夢にぴったりだ

ミルカ やってくれる？

ハンス もちろんだよ。でもトリーネを騙さなきゃいけないだろ？　うまくできるかな？

ミルカ そうね、元々が仲良しだから、もっともらしい理由がないと

ハンス トリーネをさらう理由なんて何もないよ

ミルカ 分かった。じゃあハンスもトリーネが好きだってことにすればいいわ

ハンス え？

ミルカ ヨックと王女様の仲を邪魔するためにヨックに変な薬を飲ませようとしたんだけど、それが失敗したから、王様がおかしくなってる隙を狙って王女様を誘拐したことにするの

ハンス それじゃ僕はやっぱり完全に悪者じゃないか

ミルカ 後でちゃんと誤解は解くから。みんな分かってくれるわよ

ハンス そうかなぁ

ミルカ じゃ、そういうことでよろしくね

ハンス うん、やってみるよ

 ハンス、ミルカ退場。

 大臣とヨック登場。

ヨック ハンスがトリーネを誘拐するなんて、信じられない

大臣 ヨック、大変なことが分かったぞ

ヨック 大変なこと？

大臣 ハンスがこの国を乗っ取ろうとしている

ヨック ハンスが国を乗っ取る？

大臣 そうなんだ

ヨック 一体どういうこと？

大臣 信じられんかもしれんが、いいか、よく聞け。ハンスは前々から計画していた。王女様と結婚し、この国の王になろうとしていたのだ

ヨック そんな。トリーネとは僕が結婚するんだ

大臣 ああ、だからお前が邪魔だった。それでお前に変な薬を飲ませようとしたんだ

ヨック でも、そんなことをして何になるの？　邪魔するんだったら他にもっといい方法があるんじゃないかな

大臣 お前の頭が変になって、素っ裸で踊りまわってる姿をトリーネに見られてみろ。いっぺんに嫌われてしまう。たまたま王様が欲張ってお前のお菓子を食べてしまったから助かったが

ヨック そんな。トリーネに嫌われるなんて嫌だ。王様ありがとう

大臣　　　待てよ、元々そういう狙いだったのかもしれん。お前を狙うフリをして王様を陥れる。その隙にトリーネを

ヨック　　違うよ、ハンスはトリーネが好きなんだ

大臣　　　何？

ヨック　　だから僕がトリーネに嫌われるように仕組んだんだ。ハンス、友達だと思ってたのに、なんて奴だ。このままじゃトリーネを取られちゃうよ

大臣　　　しっかりしろ、ヨック。これはチャンスなんだ

ヨック　　チャンス？

大臣　　　無理矢理言うことを聞かせようとすればかえって嫌われてしまうものだ

ヨック　　うん

大臣　　　だからハンスが王女様をさらってもうまくいくことはない

ヨック　　あ、そうか

大臣　　　そこへお前が助けに行ったらどうなる？

ヨック　　僕がトリーネを助けに行く

大臣　　　格好良く登場

ヨック　　トリーネ、助けに来たよ

大臣　　　邪魔をするハンス

ヨック　　ハンス、お前なんかこうだ

大臣　　　華麗に助け出し、愛の告白

ヨック　　トリーネ、大好きだよ

大臣　　　めでたしめでたしだ

ヨック　　すごいやパパ

大臣　　　いいか、ハンスは王女様を誘拐した悪い奴なんだ。たとえ親友だったとしても、敵に情けをかけてはいかん

ヨック　　ボコボコのギタギタだね

大臣　　　そうだ、素晴らしいぞヨック。お前のような素晴らしい息子を持てて私はなんて素晴らしいんだ

ヨック　　パパ

大臣　　　息子

ヨック　　パパ

大臣　　　息子。よし、行くぞ。ハンスは東の湖の別荘にいる

ヨック　　分かった

大臣　　　いざ出陣

ヨック　　トリーネ、今行くからね

　　　　　大臣、ヨック退場。暗転。舞台は別荘。ハンスとトリーネがいる。

トリーネ　ハンス、私をこんなところに連れてきてどうるすつもり？

ハンス　　え？あの、それは

トリーネ　お父様が変になったのは、やっぱりハンスのせいだったの？

ハンス　　…

トリーネ　黙ってちゃ分からないわ。私、ハンスを信じてる。ハンスがそんなことするわけないもの

ハンス　　トリーネ

トリーネ　犯人は大臣よ

ハンス　　え？

トリーネ　大臣が国を乗っ取るためにお父様を殺そうとしたのよ。許せないわ

ハンス　　いや、王様は死んでないよ

トリーネ　このままじゃ大臣にお城を乗っ取られてしまう。私はなんてかわいそうなのかしら

ハンス　　そんなひどいことにはならないよ、きっと

トリーネ　ひどいわ大臣、悪魔みたいなヤツね。大臣に捕まったら、私も頭がおかしくなってしまうんじゃないかしら。そんなことになるくらいなら、死んでしまいたい

ハンス　　大臣はそんなことしないよ

トリーネ　じゃあ誰が犯人なの？大臣しか考えられないわ

ハンス　　それは…

トリーネ　お願い。本当のことを教えて

ハンス　　…僕がやったんだ

トリーネ　嘘でしょ？

ハンス　　本当だ。僕がお菓子に薬を入れたんだ

トリーネ　お願い。嘘だと言って。ハンスがそんなことするはずないわ

ハンス　　でもやったのは僕なんだ

トリーネ　どうして？どうしてそんなことしたの？

ハンス　　僕はトリーネが好きなんだ

トリーネ　え？

ハンス　　でもヨックもトリーネが好きだから。二人の仲を邪魔しようとしてお菓子に薬を入れてヨックに食べさせようとしたんだ。でもそれは王様が食べちゃったから。だから王様がおかしくなってる隙にトリーネをここへ連れてきて、とにかくヨックとトリーネの仲を邪魔しようとして

トリーネ　そうだったの

ハンス　　ごめん

トリーネ　素晴らしいわ、ハンス

ハンス　　え？

トリーネ　私のためにそこまでしてくれるなんて、素敵

ハンス　　え？どういうこと？

トリーネ　私、ハンスが好きなの

ハンス　　へ？

トリーネ　素敵だわ。まさかハンスも私のこと好きだったなんて

ハンス　　え？

トリーネ　ハンス、結婚しましょう

ハンス　　えぇー？

トリーネ　ハンスは城を乗っ取ろうとする悪魔みたいな大臣から私を助け出してくれたのね

ハンス　　いや、だから薬は僕が入れたんだって

トリーネ　隠さなくていいのよ。大臣に脅されて仕方なくやったんでしょ？

ハンス　　何でそうなるの？

トリーネ　全て大臣の策略よ。大臣には分かってたの。意地汚いお父様がヨックのお菓子を横取りして食べてしまうことが。そしてお父様を牢屋に閉じ込めて城を乗っ取るつもりなのね

ハンス　　違うよ、僕がヨックとトリーネの仲を裂くために

トリーネ　もういいのよハンス。嘘をつく必要はないの

ハンス　　違うんだよ。僕の話を聞いてよ

トリーネ　ハンス、大臣なんかに負けちゃダメ。私がハンスを守ってあげるわ

ハンス　　ダメだ、何を言っても聞いてもらえない

トリーネ　とりあえず城に戻るのは危険ね。いっそのことお城なんか大臣にあげてしまえばいいわ。二人でどこか遠い所へ逃げましょう

ハンス　　逃げるって、ダメだよ。トリーネがいなくなったらお城はどうなっちゃうの？王様だって頭が変になったままだし

トリーネ　それでいいの

ハンス　　それでいいの？

トリーネ　そうよ、結婚するなんて言ったら、お父様は反対するに決まってるんだから、いない方が好都合だわ。邪魔者を消すのって基本よね。何で気がつかなかったのかしら

ハンス　　でも、お城から出て行ったらトリーネは王女じゃなくなっちゃうんだよ？それでもいいの？

トリーネ　いいわよ。そもそも私、王女の身分に何の執着も未練もないもの

ハンス　　そうなの？

トリーネ　お城の生活なんて退屈でうんざり。ハンスが私を自由な世界へ連れ出してくれるのね。素敵

ハンス　　いや、それはまずいんじゃないかな

トリーネ　何よ、ハンスはそのつもりで私を連れ出したんじゃないの？

ハンス　　え？

トリーネ　王女の誘拐なんて重罪よ。どっちにしてもお城には戻れないわ

ハンス　　うん、それはそうなんだけど

トリーネ　だったらいいじゃない。誰にも見つからない所で二人だけで暮らしましょ

ハンス　　いや、でも僕ってほら、結構財産目当てだったりするから

トリーネ　そうなの？

ハンス　　そうなんだ。実はお城での生活に憧れてて、贅沢に暮らしてみたいんだ

トリーネ　それならそうと言ってよ。じゃあお城に戻りましょう

ハンス　　どうするの？

トリーネ　ハンスが王様になればいいわ

ハンス　　え？

トリーネ　私と結婚すればハンスは王様よ。当たり前じゃない

ハンス　　ヨックはいいの？ヨックだってトリーネが好きなんだよ

トリーネ　私はヨックのこと全然好きじゃないもの

ハンス　　いや、でも

トリーネ　人のことなんてどうでもいいじゃない。これは私達の問題よ

ハンス　　そうかもしれないけど

トリーネ　お城の財産は好きなだけ使っていいわよ。いくらでも贅沢ができるわ

ハンス　　そんなことしたら大臣が黙ってないんじゃないかな

トリーネ　邪魔者は消します

ハンス　　そんな

トリーネ　いいじゃない。どうして？私を好きって言ってくれたじゃない

ハンス　　いや、言ったよ。言ったけどさ

トリーネ　素敵な国を作りましょう。何でもハンスの思い通りよ。国民が反乱を起こすギリギリまで税金を釣り上げて、私達はお城で優雅に暮らすの

ハンス　　まだ結婚できるって決まったわけじゃないじゃないか。そうだ、王様だって反対するだろうし

トリーネ　邪魔者は消します

ハンス　　そんな

トリーネ　ハンス、大好きよ

ハンス　　どうしよう。ものすごく困った

　　　　　ヨック、大臣登場。

ヨック　　見つけたぞハンス

ハンス　　ヨック

大臣　　　王女様、ご無事ですか

トリーネ　ヨック、大臣。どうしてここへ？

ヨック　　トリーネを助けに来たんだ。さあ、早くこっちへ

トリーネ　嫌よ。私を城へ連れ戻す気ね？

大臣　　　王女様、ハンスはあなたを誘拐して城を乗っ取るつもりなんです。ここにいては危険です

トリーネ　何を言ってるの。大臣、あなたこそ城を乗っ取るつもりなんでしょ

大臣　　　何をバカなことを

ヨック　　そうだ。パパがそんなことするわけないじゃないか

ハンス　　ヨック、計画は失敗だ

ヨック　　ああ、そうさ。お前の計画は失敗だ。ハンス、親友だと思ってたのに。トリーネは僕が連れ戻す

トリーネ　ヨック、目を覚ましなさい。お父様に薬を飲ませたのは大臣よ

大臣　　　王女様、騙されてはいけません

トリーネ　帰ってちょうだい。私はハンスと結婚するの

ヨック　　け、結婚？

大臣　　　何ということだ。ハンス、王女様をたぶらかしたな

ハンス　　違うよ違うよ

ヨック　　黙れハンス。僕からトリーネを奪おうとするなんて。もう許せない。お前なんかボコボコのギタギタに叩きのめしてやる

トリーネ　そんなことさせないわ。ハンスには指一本触れさせない

ハンス　　一体何がどうなってるんだ

ヨック　　どくんだトリーネ

トリーネ　さあ、かかってらっしゃいヨック。来ないならこっちから行くわよ

　　　　　トリーネ、ヨックを倒す。

ヨック　　何でこんなことに

大臣　　　ヨック、大丈夫か？

ヨック　　パパ、やられちゃったよ

ハンス　　何でこうなるの？

トリーネ　私はハンスと結婚するの。分かったら帰ってちょうだい

大臣　　　それはできません。王女様には城に戻ってもらいます

トリーネ　どうするの？

大臣　　　こうします

　　　　　大臣、ハンスを捕まえる。

トリーネ　ハンス

大臣　　　ハンスを無事に返して欲しかったら、王女様、お城にお戻り下さい

トリーネ　卑怯よ、大臣

大臣　　　このままではハンスは国を乗っ取ろうとした罪で死刑になります。それを考えればずいぶん良心的な提案だと思いますが

トリーネ　私が城に戻ればハンスは助かるのね？

大臣　　　そうです

トリーネ　分かったわ

大臣　　　ありがとうございます

ハンス　　トリーネ、ごめん

トリーネ　いいのよ

ヨック　　パパ、格好良い。すごく悪い人みたいだ

大臣　　　バカ者。私は情けない。男は強くたくましくとあれほど言って育てたのに

ヨック　　ごめんよ、パパ

トリーネ　ヨック、あなたとは絶交よ

ヨック　　ええ？そんなぁ

　　　　　全員退場。ミルカ登場。

ミルカ　　何だか面倒なことになったわね

　　　　　ミルカ退場。暗転。暗転幕の前にハンスとミルカ登場。

ハンス　　僕はお城のコックを辞めることになったよ

ミルカ　　ダメよ、ハンス。辞めちゃダメ

ハンス　　本当だったら死刑だったんだ。これだけで済んで良かったんだよ

ミルカ　　ハンスは何も悪くないじゃない。ちょっと悪いことが重なっただけ

ハンス　　でもどうしようもないじゃないか。こうなったらもうお城にはいられない

ミルカ　　ダメよ、ハンス。王女様を助けて

ハンス　　どういうこと？

ミルカ　　大臣がお城を乗っ取ろうとしてるの

ハンス　　本当？

ミルカ　　私、ずっと調べてたの。王様に薬を飲ませたのはやっぱり大臣よ

ハンス　　トリーネの言ってたことは本当だったのか

ミルカ　　ヨックと王女様を結婚させようとしたのも大臣の策略よ。でもそれが失敗したから今度はもっと強引に来るわ

ハンス　　強引に？大臣は何をするつもりなの？

ミルカ　　王様を牢屋に閉じ込めてる間に王女様とヨックを無理矢理結婚させるの

ハンス　　ええ？そんなことしていいの？

ミルカ　　王様がいなければ、この国で一番権力を持ってるのは大臣よ。そしてヨックが王様になれば、ヨックの父親である大臣はこの国を思い通りにすることができる

ハンス　　そんなの許せないよ。何とかしなきゃ

ミルカ　　だからハンス、力を貸して

ハンス　　もちろんだよ。でも一体どうすればいいの？

ミルカ　　まず王女様をお城から助け出すの。王女様は今、自分の部屋に閉じ込められてて外に出られないわ

ハンス　　そうか。でも大臣に見つかったらどうしよう？

ミルカ　　大臣は私が何とかする

ハンス　　でも危険じゃない？

ミルカ　　大丈夫。作戦は考えてある

ハンス　　よし、じゃあ行こう

ミルカ　　これ、王女様の部屋の鍵よ。見つからないようにね

ハンス　　分かった

　　　　　ハンス、ミルカ退場。暗転。トリーネの部屋。トリーネがいる。ハンス登場。

トリーネ　誰？

ハンス　　僕だよ

トリーネ　ハンス。助けに来てくれたのね？

ハンス　　トリーネ、大丈夫？

トリーネ　出られなくて困ってたの。どうやって入ってきたの？

ハンス　　ミルカが鍵をくれたんだ。さあ、逃げよう

トリーネ　やっぱり大臣が全て仕組んでたのね

ハンス　　うん。このままじゃ大臣にこの国を乗っ取られちゃう

トリーネ　お父様は？

ハンス　　まだ牢屋の中だ。ここは危険だから、早く逃げよう

トリーネ　ありがとうハンス。素敵よ

ハンス　　さあ、行こう

　　　　　大臣、ヨック登場。

大臣　　　そうはさせんぞ

ハンス　　しまった。見つかったか

トリーネ　大臣、ヨックも

大臣　　　ハンス、貴様の思い通りにはさせん

ヨック　　トリーネを返せ

トリーネ　あなたたちが私を捕まえたんじゃない。返せなんておかしいわ

ハンス　　ヨック、話を聞いてくれ

ヨック　　うるさい。もうお前なんか友達じゃない

大臣　　　もう逃げられんぞハンス。観念するんだな。衛兵、衛兵。出会え

ハンス　　くそ。どうすればいいんだ

　　　　　間。

大臣　　　ん？どうした衛兵。早く来ないか

　　　　　ミルカ登場。

ミルカ　　兵士は誰も来ませんよ

ハンス　　ミルカ

大臣　　　何故だ？何故来ないんだ

ミルカ　　王女様の部屋に勝手に入ると後でとんでもない目に遭います。だから誰もここには入って来ません

大臣　　　何だと？私の命令が聞けないと言うのか

トリーネ　私の命令よ。何があろうと私の部屋に入らないようにって。もし入ったら、朝起きるとモヒカンになってたり、食事が全てチョコレートになったり、突然池に突き落とされたりするわ。残念だったわね大臣

大臣　　　それくらい何だ。私は大臣だぞ

トリーネ　私は王女よ。大臣、身分をわきまえなさい

大臣　　　ええい、ハンス、全てお前が悪いんだ

ハンス　　えぇ？どうして？

大臣　　　一度ならず二度までも王女様を誘拐しようとするとは。王女様はお前に騙されているんだ

ハンス　　そんなことしてないよ

トリーネ　私は正気よ。大臣、あなたの思い通りにはならないわ

ヨック　　トリーネ、僕は本当に嫌われちゃったの？

トリーネ　残念よ、ヨック。いい友達だと思ってたのに

ヨック　　聞いてくれ、トリーネ。僕は君が好きなんだ。できるならこの指輪を受け取ってほしい

　　　　　ヨック、指輪をトリーネに差し出す。トリーネ、指輪を床に叩きつける。

ヨック　　ああ

トリーネ　私の人生にあなたは必要ないの

ヨック　　うわーん

ミルカ　　ヨック、かわいそうに

大臣　　　何ということだ。私の息子に対してこの仕打ち。王女といえども、もう許しませんぞ

トリーネ　じゃあどうするというの？

大臣　　　ハンスを死刑にしてくれるわ

ハンス　　えぇ？

大臣　　　元を正せば諸悪の根源はこのハンス。ハンスがいなくなれば万事うまくいくというもの

トリーネ　そんなことはさせないわ

大臣　　　黙らっしゃい。さあ、覚悟はいいか、ハンス

ハンス　　ど、どうしよう

　　　　　大臣、突然何かわけの分からないことを言い出す。

ヨック　　パパ？

トリーネ　どうしたの？

ヨック　　どうしちゃったんだよパパ

　　　　　大臣、ヨックを殴り倒し退場。

ヨック　　ひどいよパパ。うわーん

　　　　　ヨック退場。

ハンス　　一体何がどうなってるんだ

ミルカ　　やっと薬が効いてきたみたいね

トリーネ　ミルカ、あなた何をしたの？

ミルカ　　さっき、紅茶に薬を入れておいたんです

ハンス　　薬？

ミルカ　　台所にあった変な薬

ハンス　　なんてことするんだよ

トリーネ　ミルカ、ナイスよ

ミルカ　　ありがとうございます

ハンス　　ナイスじゃないよ。どうすればいいんだ。大臣までおかしくなっちゃって

トリーネ　とりあえず牢屋に閉じ込めておけばいいんじゃないかしら？

ミルカ　　そうですね

ハンス　　それでいいの？

トリーネ　いいんじゃない？そのうちきっと正気に戻るわ

ハンス　　そうだといいけど

トリーネ　これで邪魔者もいなくなったし

ミルカ　　めでたしめでたしですね

トリーネ　ハンス、二人で幸せに暮らしましょう

ハンス　　あ、やっぱりそういうことになるんだ

トリーネ　ハンス、大好きよ

ハンス　　トリーネ、そのことなんだけど

トリーネ　何？

ハンス　　実はこれは大臣の計画だったんだ

トリーネ　大臣の策略は全て打ち砕いたわ。もう大丈夫よ

ハンス　　そうじゃなくて

トリーネ　結婚式はいつがいいかしら。早い方がいいわよね？

ハンス　　待って、待ってよ

トリーネ　そうか。あんまり焦っても仕方ないわね。まだちゃんとお付き合いしたわけでもないし。こういうことは順番にやっていかないと

ハンス　　ミルカ、どうしよう

ミルカ　　おめでとうハンス

ハンス　　そんなこと言ってないで何とかしてよ

王様　　　ちょっと待てーい

トリーネ　誰？

　　　　　王様、派手に登場。

王様　　　お菓子を食っておかしくなった王様登場。ハハハ、おかしいか

ハンス　　王様

王様　　　娘との結婚は私が許さん

トリーネ　お父様、どうやってここへ？

王様　　　牢屋をぶち破るなど朝飯前よ

ミルカ　　変態的パワーね

王様　　　貴様か、私の娘と結婚したいなどとぬかすうつけ者は。どこの馬の骨か知らんが貴様のような奴に娘はやらん

ハンス　　王様、話を聞いて下さい

王様　　　たわけが。貴様にお父さんなどと呼ばれる筋合いはない

ハンス　　そんなこと言ってません

王様　　　黙れ。聞く耳持たんわ。さあ、とっとと帰れ

　　　　　ミルカ、いつの間にかちゃぶ台を用意。王様、ちゃぶ台をひっくり返す

トリーネ　お父様、お願い。私、ハンスが好きなの

王様　　　いくらかわいい娘の頼みでもそれだけは聞けん

ハンス　　ダメだ、暴走してる。これじゃ手がつけられない

トリーネ　何か強いショックを与えれば元に戻るんじゃないかしら

ミルカ　　でも、王様って元からこんなだったような気もします

トリーネ　それもそうね

ハンス　　変だよ、ものすごく変だよ

トリーネ　多少ハイになってるだけよ

ハンス　　強いショックを与えるって、どうすればいいんだ？

ミルカ　　殴ったらいいんじゃないかしら？

トリーネ　ハンス、お願い

ハンス　　僕がやるの？

王様　　　娘が欲しかったらこの私を倒して行くんだな

トリーネ　がんばって

ハンス　　こうなったらもうヤケクソだ

王様　　　ハンス、天に帰る時が来たのだ

　　　　　ハンス、王様を倒す。

王様　　　効いたよ。こんなに気合の入ったパンチは初めてだな。私の完敗だ

ハンス　　王様、正気に戻ったんですか？

王様　　　私はもう何も反対しない。好きにするがいい

トリーネ　本当？

ハンス　　え？

王様　　　娘をよろしく頼む

ハンス　　えぇー？

　　　　　暗転。ハンス、トリーネ、ミルカ、王様がいる。

王様　　　ふむふむ、つまり私は変な薬を飲んでおかしくなったのだな

トリーネ　そうよ

王様　　　そうだったのか。道理でいつもよりウキウキしてたわけだ

ハンス　　ウキウキっていう感じなのかなぁ？

王様　　　で、ハンスが正気に戻してくれたと。よくやったハンス

ハンス　　いえいえ

王様　　　しかしあの薬はハンスのお菓子に入っていたのではないか？

ミルカ　　そうです

王様　　　なんて事をしてくれたんだ

ハンス　　違います

トリーネ　大臣がやったのよ

王様　　　大臣が？

　　　　　大臣、ヨック登場。

大臣　　　待って下さい王様

王様　　　大臣

トリーネ　正気に戻ったの？

大臣　　　息子に殴られたのは初めてです

ミルカ　　殴ったの？

ヨック　　パパがおかしくなって、襲いかかってきたから、つい、こうグーで

大臣　　　魂のこもったいい拳だった。立派に成長してくれて、パパは嬉しいぞ

ヨック　　パパ

大臣　　　息子

王様　　　大臣、異論があるなら言ってみろ

大臣　　　ハンスは王女様をたぶらかし、国の乗っ取りを企んでいるのです

トリーネ　ハンスがそんなことするはずないじゃない。国の乗っ取りを計画していたのは、大臣、あなたよ

ヨック　　何言ってるんだよ。パパがそんなことするはずないじゃないか

王様　　　待て待て。これでは話が進まん。まず大臣、国の乗っ取りを企てていたのは本当か？

大臣　　　とんでもありません。私は息子の願いを叶えるために協力していただけ。確かに行き過ぎた行動をしたのは認めますが

王様　　　ふむ。ではハンス、お前はどうだ

ハンス　　僕はただ、大臣の計画通りに

トリーネ　大臣の計画？

王様　　　どういうことだ？

ハンス　　ヨックとトリーネをくっつけるのに協力してくれって。だから僕は悪者のフリをしてトリーネを誘拐したんだけど、いつの間にか話がゴチャゴチャになっちゃって

大臣　　　私はそんな計画知らないぞ？

ハンス　　え？だってミルカにそう聞いたんだよ？

大臣　　　私は王様にヨックと王女様が結婚できるようお願いしていただけだ。何かの間違いじゃないのか？

ハンス　　あれ？じゃあ国を乗っ取る計画は？

大臣　　　そんなものはない

ハンス　　あれぇ？

トリーネ　ちょっと待って。じゃあハンスは私と結婚する気なんかなかったってこと？

ハンス　　うん、そうなんだ

トリーネ　何よそれ。ひどい。あんまりだわ

王様　　　ハンス、娘を泣かせた者は死刑だ

ハンス　　泣いてない、泣いてないよ

王様　　　つまり、どちらにも国を乗っ取る計画などないのだな？

大臣　　　はい

王様　　　だったらそれでいいんじゃないか？

ハンス　　え？いいの？

王様　　　今まで通り平和に暮らして行こう。平和が一番

トリーネ　そんな能天気なこと言わないで。私はどうすればいいの？

王様　　　ハンスと結婚すればいいのだろう？

ハンス　　え？

王様　　　ハンスは私の見込んだ男だ。何の異論もない

ハンス　　ちょっと待って下さい

トリーネ　ハンス、私のこと好きだって言ったわよね？

ハンス　　だからそれは話の流れで

トリーネ　言い訳は聞きたくないわ

王様　　　大臣、トリーネとハンスの結婚に異論はないな？

大臣　　　はい。やはり王女様は自分が選んだ相手と結ばれるのが一番なのでしょう

王様　　　ヨックもそれでいいか？

ヨック　　悔しいけど、ハンスなら仕方ないや

ハンス　　それでいいの？

トリーネ　ハンス、結婚しましょう

王様　　　男なら覚悟を決めるんだ

大臣　　　さあ

ハンス　　え、あ、はい

　　　　　一同、喜ぶ。

王様　　　そうと決まったら宴の用意だ

ハンス　　ちょっと待って、今のなし

トリーネ　そんなのダメよ

王様　　　今日はなんていい日なんだ

大臣　　　私はもうヘトヘトですよ

ヨック　　ハンス、疑ってごめんよ

ハンス　　いいんだよ、そんなこと。それよりこんなことになっていいのかな？

トリーネ　いいの。もう決まったんだからウジウジしない

ヨック　　そうだよ。これでいいんだよ

大臣　　　大体王様は元気がありすぎなんです

王様　　　お前は体力がないな。私なんかあの変な薬のせいで若返った気分だぞ

ミルカ　　こうして、大変だったお城の大騒動も無事に解決し、お城に平和が戻って来ました。そして王女様はハンスと結婚し、末永く幸せに暮らしました。めでたしめでたし

ハンス　　ちょっと待ってよ。じゃあこの騒ぎは一体何だったの？

大臣　　　そういえば、あの変な薬は一体誰が？

みんな　　あ

トリーネ　大臣じゃないの？

大臣　　　私はそんなことしてません。ハンスでしょう

ハンス　　違うよ。何にもしてないよ

ヨック　　じゃあ、誰？

　　　　　間。みんなミルカを見る。

ヨック　　あれ？その指輪って僕がトリーネにあげるはずだった

ミルカ　　ヨック、行きましょう

ヨック　　え？何で？

ミルカ　　いいから早く

　　　　　ミルカ、ヨックを連れて退場。

ハンス　　え？何？どうなったの？

トリーネ　前から思ってたんだけど、ミルカってヨックが好きなんじゃないかしら

ハンス　　え？そうなの？

トリーネ　多分

ハンス　　でもミルカはいつもヨックにひどいこと言ってるよ

トリーネ　それは愛情の裏返しよ

ハンス　　そうなの？

王様　　　一連の騒動はミルカの仕業ということか

トリーネ　そういうことね

ハンス　　どういうこと？

トリーネ　私とヨックをくっつけて、自分はヨックと

ハンス　　わけが分からないよ

大臣　　　あの二人はどこへ行ったんだ？

トリーネ　どこかに逃げたんじゃないかしら

王様　　　めでたい

大臣　　　めでたくないです

ハンス　　一体何がどうなってるんだ

トリーネ　ハンス、行くわよ

ハンス　　どこへ？

トリーネ　私まで騙されてたのよ。このまま黙ってられないわ。捕まえて仕返ししなきゃ。さあ

ハンス　　あ、ちょっと待ってよ

大臣　　　そうだ、追うんだ。待ってろ息子

王様　　　皆の者、祭りの準備だ

　　　　　全員退場。

　　　　　終わり。